

福島再生加速化交付金(福島定住等緊急支援)
/福島定住等緊急支援交付金

定住緊急支援事業計画の実績に関する評価

令和5年12月
福島県 田村市

(様式1)

定住緊急支援事業計画に基づく事業等の評価一覧

令和5年12月時点

1) 事業の実施概要

(単位:千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名 施設名	基幹/ 効果促進	事業実施主体	全体事業費 (注3)	全体事業期 間 (注4)	年度事業費(注5)					評価実施時 期 (注6)	その他
								平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
1	B - 1 - 1	田村市屋内遊び場整備 事業	田村市船引地区 田村市屋内こども遊び場 (おひさまドーム)	基幹	田村市	(321,539) 432,796	2~4			(101,670) 101,670	(75) 1,706	(219,794) 329,420	令和5年12月	
2	◆ B - 1 - 1	田村市屋内遊び場整備 事業(駐車場・フェンス)	田村市船引地区 田村市屋内こども遊び場 (おひさまドーム)	効果促進	田村市	27,500 27,500	2~4					(27,500) 27,500	令和5年12月	
3							~							
4							~							
5							~							

2) 事業計画に記載した地域の復興における支障の解決に係る目標(注7)

	指標	従前値		目標値		実施後の値		達成度	モニタリング方法	効果発現要因 (総合所見)	今後の対応	備考(注8)
		基準年度	目標年度	基準年度	目標年度	確認年度	確認年度					
目標1	小学生の肥満傾向児童割合(%)	男子:15.2% 女子:11.6%	H29	男子:14.4% 女子:11.0%	R4	男子:16.6% 女子:12.6%	R4	男子:86.7% 女子:87.3%	学校保健統計調査 市町村別肥満傾向児童生徒数調査	運動不足等の要因により、肥満児童の割合が増加傾向にある。	運動機会の増加及び肥満児の解消を図るために、子どもに楽しく体を動かして遊ぶことができる環境を提供し、今後もフォローアップを行っていき	B-1-1 ◆B-1-1
目標2	小学5年生スポーツテスト 20mシャトルラン(%) 全国平均との比較	男子:83% 女子:89%	H29	男子:91.3% 女子:97.9%	R4	男子:101.7% 女子:97.0%	R4	男子:111.4% 女子:99.1%	田村市教育委員会による調査	H29の全国平均割合と比較し、運動環境を確保したことでシャトルランの平均回数が増加し一定の効果を得ることができた。	楽しく体を動かして遊ぶことができる環境を確保し、運動機会の増加を図ることで、運動能力の向上を図る。	B-1-1 ◆B-1-1
目標3												
目標4												
目標5												

3) その他目標(2)に掲げたもの以外の目標(注7)

	指標	従前値		目標値		実施後の値		達成度	モニタリング方法	効果発現要因 (総合所見)	今後の対応	備考(注8)
		基準年度	目標年度	基準年度	目標年度	確認年度	確認年度					
目標1	年間利用者数(人)	-	-	30,000人	R5	17,772人 R5.10現在	R5	59%	受付人数集計	市内外に対して施設のPRを行ったことで、令和5年4~10月の利用者数は目標値を上回る人数で推移している。	イベント等の毎月実施や施設内の充実を図り、引き続き市内外に対して施設のPRを行うことで利用者数の増加を図っていく。	B-1-1 ◆B-1-1
目標2												
目標3												
目標4												
目標5												

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は、定住緊急支援事業計画に記載された事業名を記載する。

(注3)「全体事業費」は、「全体事業期間」を通じての全ての事業費と交付対象事業費をそれぞれ記載する(交付対象事業費は()で記載)。

(注4)「全体事業期間」は、事業着手年度から全ての事業内容が完了する年度までを記載する。

(注5)「年度事業費」は、事業着手から事業完了年度までの各年度の交付対象事業費と全ての事業費の実績額をそれぞれ記載する(交付対象事業費は()で記載)。

(注6)「評価実施時期」は、定住緊急支援事業計画に基づく事業等が完了した日の属する年度の翌年度の12月末日までの実施した時期を記載する。

(注7)2)には定住緊急支援計画に記載した内容を、3)には定住緊急支援計画に全く記載していないものの、今回の整備により期待される効果があれば記載する。

なお、A-1.B-1.2.C-1事業については、子どもたちが十分に運動する機会の確保の観点、C-2.C-3については子育て世帯の定住に資する観点から、維持管理や運営の視点、ソフト事業との相乗効果などの面も含め目標を記載する。

(注8)「備考」の欄には、当該目標の評価対象となる事業番号を記載する。

(様式2)

個別事業等実績評価シート

令和5年12月時点

県名	福島県	交付期間	令和2～4年度	交付対象事業費	460,296千円
市町村名	田村市	実績評価実施時期	令和5年度	評価対象事業	B-1-1 ◆B-1-1

1) 事業の実施概要

事業計画に記載した地域の復興における支障の解決に係る目標(注1, 2)

船引地区に屋内こども遊び場を整備することにより、子どもの運動機会を確保し、避難している子育て世帯の早期帰還を図るとともに、帰還した子どもの肥満傾向や体力テストの改善を図ることを目標とする。

【区域全体図】



屋内こども遊び場の外観



利用状況

【事業詳細】

(1) 事業概要

小学生以下の児童が利用できる田村市屋内こども遊び場を整備することで、避難している子育て世帯の帰還促進や帰還世帯が住み続ける環境を目指すとともに、帰還した子どもの体力向上・肥満児童減少を図る。

- ・整備施設: 田村市屋内こども遊び場
- ・整備箇所: 田村市船引町船引字源次郎120番地3 船引運動場内
- ・延床面積: 574.56㎡(平屋)

(2) 事業の実施状況

- ・施設の工事期間 令和2年9月1日～令和5年3月29日
- ・完成時期 令和5年3月29日
- ・供用開始時期 令和5年4月29日
- ・供用開始後の運営方法 定休日: 木曜日、年末年始
- 運営時間 第1クール 10:00～11:30
- 第2クール 13:00～14:30
- 第3クール 15:00～16:30
- 利用料金 無料
- ・利用状況 5,268人(4/29～6/14)
- ・イベントの開催状況等 月に1日全クールにおいてイベントを実施

(3) その他

- 令和5年10月に田村市地域創生総合戦略会議の委員へ書面で意見徴収を行った結果、以下の意見が寄せられた。
- ・体力の向上が目的であれば、市内のスポーツ少年団体活動の推進などを検討してはどうか。子どもがやりたくても親の都合でできない等の家庭が多いかと思う。
- ・屋内こども遊び場を作っていただいたことはとても良いと思う。子育て世代にとって、良い環境の1つとして大いに利用価値があることと思う。たくさんの方に利用していただき、これが子どもたちの日常的な運動・遊びにつながり、体力の向上に寄与できるものと期待する。
- ・施策内容と目標との因果関係が不明である。目標値そのものを見直してはどうか。

事業計画推進による効果・変化

船引地区に整備した屋内こども遊び場の利用により、子どもたちの運動能力が向上した(小学5年生スポーツテスト20mシャトルラン(%)全国平均との比較 男子18.7%、女子8%増加、)。

効果、変化を踏まえた今後の方策(改善策を含む)

市広報誌やSNSにより周知を図ることで、利用したことのない児童の利用を図る。
プレイリーダースタッフの配置により、子どもたちに様々な体の動かし方、遊ぶ楽しさを覚えさせ、もって、運動能力の向上を図る。

(注1) 様式1の2)に掲げた目標のうち、本様式に記載する事業に係るものを記載する。

(注2) 様式1の2)に掲げた目標が複数の事業等を一体的に実施することで達成されると想定される場合、関連する事業等を総括した全体評価による記載も可とする。